

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

平成31年2月28日

1 行政調査「パラスポーツ専用体育館の現地調査(平成30年12月14日実施)」
に関する意見等について

2 意見書(案)について

(1) 東京2020パラリンピック競技大会に向けた意見書(案)

3 報告事項

【地域振興部】

(1) 東京2020大会に向けた平成31年度の重点事業について [資料]

4 調査報告(案)について

5 その他

6 閉会中の特定事件継続調査事項について

東京 2020 大会に向けた平成 31 年度の重点事業について

千代田区は、オリンピック4競技・パラリンピック2競技に加え、マラソンコースも区内を通過することとなっており、区民の多くが、大会を身近に感じられる環境にある。大会開催まで残り1年余りとなり、平成31年度は、取組みを進める実質的な最終年度と考えており、重要な年であると位置付けている。ついては、区民の大会に向けた関心や期待感など、気運を高めていくとともに、レガシーとして次世代の育成・地域活性化につなげていく取組みを推進する。

Let's2020 事業

新規

- 《学校等を会場としたイベント展開》
 - 幼稚園・保育園や小・中学校を会場に行っている園・学校行事のほか、園児や児童・生徒と地域の方が一緒に参加(参観)・交流を行っている既存の行事・イベントにおいて、アスリートを招聘。区内開催競技の体験などを実施。
 - 事業者の選定
プロポーザル方式を採用。より優れた企画・提案を行った事業者を選定。外部委員には、伊藤華英氏(オリンピック)が就任。
 - 7月から順次実施していく予定。

拡充

- 《気運醸成事業補助金》
 - 区内に所在する団体・企業・私立学校が、オリンピック・パラリンピアンなどのアスリートや有識者を招き、体験会や講演会などを実施した際の事業経費(謝礼や会場費、広告費など)を補助。
 - 補助制度の変遷

平成29年度 予算:200万円 補助率:2分の1 限度額:50万円	⇒	平成30年度 予算:300万円 補助率:3分の2 限度額:50万円	⇒	平成31年度 予算:600万円 補助率:4分の3 限度額:100万円
--	---	--	---	---

障害者スポーツ体験会

拡充

平成 30 年度に引き続き、障害者スポーツ及び障害者への理解を深めるとともに、東京 2020 パラリンピック競技大会への関心向上を図るため、障害者スポーツ体験会「Let's play!パラスポーツちよだ 2019」を実施する。

31 年度は、体験競技の充実や参加対象者の範囲を広げるなど、より多くの方に参加いただけるよう工夫をしていく。

- 日時 2019 年 12 月(障害者週間に合わせ実施)
- 開催場所 千代田区立スポーツセンター
- 体験競技 人気の高い、車いすバスケットボールやブラインドサッカー、ボッチャに加え、新規に区内競技である、パワーリフティングを検討
- 参加者 今年度参加の 400 名以上を目指す。



▲Let's play!パラスポーツちよだ 2018 の様子

その他気運醸成に向けた取組み

継続



祭り・イベントでの啓発配布



マスコットの出演(体育大会)



新カウントダウンモニターの設定